

バラエティチャネルにおける主要ブランドの展開傾向

分類	コンセプト軸	ブランド別特性	ラインナップ特性
トータルケア ブランド (複数のケア、 ラインナップで 展開する ブランド)	<p>●全品無香料、無着色が完全定着 ・安全性、低刺激性の訴求が一般化 ほとんどのブランドに見られ主コンセプトではないが重要なセルスピクトのひとつ ・ブランドによっては無合成色素、無鉱物油などさらに自然指向を強めているものもある</p> <p>●皮膚医学、皮膚理論に基づいた商品 <u>ドクター開発のブランド</u> ・ドクターズコスメであることを主コンセプトとして打出している。全体的には化学的なイメージで展開、皮膚理論による展開内容は各ブランドによって異なっている</p> <p>●デリケート、敏感肌、トラブルの起きやすい肌対応 低刺激、弱酸性を強調。肌に負担をかけないコスメであることをサブで訴求しているものから抗アレルギーの原料にこだわっている主コンセプト型のブランドまである</p>	<p>1. NOV 2. リンザクライ 10. アストレア 11. サプリメントリカバー 12. ララ(スキンケア)</p> <p>①皮膚刺激の原因になりにくい原料を選ぶ (1. NOV) ②水分補給を第1に考えている(2. リンザクライ) ③ニキビ肌、アトピー肌などに科学的論拠でアピール (11. サプリメントリカバー)</p> <p>①具体的な原料を訴求していないがメディカルイメージ (1. NOV) ②赤ちゃんの肌にもOK。 主成分はコクトオリゴ (4. プライマリーベビー) ③生命体に近い水「π ウォーター」がベース。上2つのブランドに比べ汎用性のあるイメージ (10. アストレア)</p>	<p>■フルケアラインを有するブランドもスキンケア中心</p> <p>1. ノブ さっぱりのノブDと保湿効果の高いノブIIの2ラインを有するスキンケア中心(3500~5000円)。フルケアラインを有するがボディ、メイク、ヘアは基本アイテムのみで目立たない</p> <p>2. リンザクライ スキンケアに注目しており①ナチュラルスキンケア(3500~5000円)と1クラス上の②リソスキンケア(7600~9500円)がありいずれも肌タイプ別アイテム、スペシャルケアアイテムと充実。自分に合ったアイテムを選びやすい構成になっている。ファンデーションも目的に応じて選ぶことができる。</p> <p>3. カツウラ 主幹商品のパックを核にしつつ少アイテム。美肌、美白目的に適す(2500~3500円)</p> <p>10. アストレア スキンケアとヘアケアが比較的充実しているがラインナップに大きな特徴はない 自分の肌に合わせて、アイテムを組み合わせるため、特に肌タイプ別のラインはない(2000~3500円)</p> <p>※ドラッグ、バラエティドラッグなど多チャンネルで取扱いの多い「アストレア」は価格帯もラインナップも無難な構成である。</p>

分類	コンセプト軸	ブランド別特性	ラインナップ特性
トータルケアブランド (複数のケア、ラインナップで展開するブランド)	<p>●「美肌」に主眼を置く 美肌づくりの原料にこだわったブランドから美肌づくりのトータルなケアシステム、エステイメージのブランドまで幅広い</p> <p>●ホームエステを提案 ケライン(スキンケア、ボディケア、ヘアケア)のみで展開しており、アイテム数も多くはない。マッサージ、パック美容液アイテムが多く用具類の併用導入も見られる。海藻、泥、ハーブなど天然成分をベースに訴求している</p> <p>●豊富なアイテム、カラーのメイクアップシリーズを核にしたブランド このコンセプトには知名度などのブランド力が求められる。専用什器で展開しているのも特徴。メイクアップ主体のブランドとして旗揚げし、スキンケアの後発導入とともにトータルケアブランドの地位を固めている。スキンケアのコンセプトにも独自性は見られるがスキンケア主体のブランドに比べるとターゲットを幅広く獲得できるように効果や作用よりもイメージに寄ったアピールをしている</p>	<p>①美肌の為のスキンケア理論から生まれた「パック」をキーアイテムに独自の美肌ブランドを確立(3.カツウラ)</p> <p>②六甲の水と米ぬかの保湿成分。昔ながらの美肌料「米ぬか」がキーアイテム。多アイテム展開に積極的(5.美人ぬか)</p> <p>①美肌づくりを独自のケライン、ステップで提案(3.カツウラ)</p> <p>②トラブル肌の回復とファーミングの2本立てライン(7.プロスペクトライブ)</p> <p>③用具使用によるトータルなファーミング効果(8.エステンス)</p> <p>④タラソテラピー応用でパックに主点を置いている(14.アモエタス)</p> <p>①パリ発「マリ・クレール誌」ブランド 全てが「パリ」のニューソスを打ち出しているスキンケア…ピュアフレンチハーブをベースにした自然派ボディケア…フレンチローズの香り(6.マリクレール)</p> <p>②メイクアップアーチスト渡辺サブロオ開発プロコース訴求スキンケア…5つのステップを提案(13.ケラランパ・サン)</p>	<p>■フルケラインを有しないブランドもスキンケア中心</p> <p>4. プライマリーベビー スキンケア、ボディケアのみのライン、いずれも最小限のアイテムでスポット利用や試し買いがしやすい(1000~1600円)</p> <p>5. 美人ぬか スキンケア、ボディケアのみのライン、スキンケアは基本システムだが化粧水のみが肌タイプ別(980円)</p> <p>7. プロスペクトライブ 肌の回復を目的としたパックのみのスキンケライン(3000円)と、ひきしめを目的としたデイリーなスキンケライン(洗顔+化粧水:1500~2000円)がある。他に下半身のひきしめを目的としたボディラインあり</p> <p>11. サプリメントリカバー スキンケア、ヘアケアのみのライン、スキンケアに注力しており、ニキビ肌、アトピー肌に対応したライン(1800~3500円)とUVケアライン(2000~3500円)がある。前者はフルアイテム後者は整肌アイテムのみでスポット利用しやすい構成になっている</p> <p>※オーソドックスなアイテム、リーズナブルな価格の美人ぬかは洗顔からフルスキンケア次いでボディへとラインナップを増加しつつある。ドッグでは売筋商品。</p> <p>■メイクアップに力点を置いているブランドは、専用什器で展開</p> <p>6. マリクレール メイク先駆で、スキンケアとヘア&ボディケラインを有するメイクではアイカラー、リップ、ネイルのカラーバリエーションが豊富で50~70色身近なブランドとしての安心感もある。ケラインもシンプルながらも充実(メイク1250~2950円、スキンケア1800~2000円、ボディ&ヘア1200円)手が出やすい価格帯</p> <p>13. ケラランパ・サン プロフェッショナルが提案し開発したメイクアップラインにスキンケアを有するアイメイクにもチークカラーにもなるフェイスカラーに定評あり50色と充実ベースメイクと用具類の充実はバラエティ系では群を抜いているスキンケアは肌タイプ別にラインナップされている(メイク2000~5000円、スキンケア4000~10000円)可処分所得の多い大学生OL層をターゲットとしている</p> <p>※マリクレールが街の小型バラティ店まで進出しているのに対しケラランパ・サンは取扱店が限られている</p>

分類	コンセプト軸	ブランド別特性	ラインナップ特性								
トータルケア ブランド (複数のケア、 ラインナップで 展開する ブランド)	<p>●特徴ある原材料、配合成分 主コンセプトのブランドと特長づけの一つとして訴求しているブランドに大別できる 最近の傾向として主原料の「水」にこだわったものが目立つ。(キンケライン)水に含まれるミネラルのNMF、保湿成分の働きを高める作用に注目し、訴求している。海藻、泥についてもミネラルに着目したものである。</p>	①海水ミネラル成分(1.NOV II) ②穴の谷の天然水 (2.リソスキンケア) ③コクトオリゴ/抗アルギー高保湿(4.プロライマリベーピー) ④六甲の水と米ぬか (5.美人ぬか) ⑤ヨーロッパ原産ハーブ (6.マリクレール) ⑥海藻、泥、海水の天然ミネラル(7.プロスキンケティグ/ 14.アモエタス) ⑦ヨーロッパハーブ/スリミング効果(8.エステンス) ⑧ルウォーター(10.アストレア) ⑫乳酸菌発酵液(12.ラサラ)	<p>■ボディケア中心のブランドはアイテム一品一品がユーザーの隙間ニーズに応える</p> <table border="1"> <tr> <td>8.エステンス</td> <td>スリミング効果を目的としたボディケアとスキンケラインを有する。マッサージアイテム(クリーム、美容液)+用具で目的を絞り込んだ無駄のないラインナップ (1800~2200円)</td> </tr> <tr> <td>12.ラサラ</td> <td>ボディケア中心のフルケラインを有するブランド。ターゲット世代を絞り込んでいるためアイテムもターゲットのニーズに合わせた展開になっている ヘアケア、ヘアスタイリング、リップも選択しやすい構成、またボディケアでは美白UVケアにも重点を置いている(1000~1500円)</td> </tr> </table> <p>※ラサラは、バラエティトックでの取扱いも目立ちアイテムの一部を取り扱っている店も多数ある ティーンの関心が高いボディ、ヘアが充実しており、価格的にも手頃。 ドラッグ系では売筋商品</p> <p>■ヘアケア、フレグランス中心のラインナップは希少</p> <table border="1"> <tr> <td>14.アモエタス</td> <td>ヘアケア中心でスキンケアパックのラインあり。少アイテムだが高額でパックに力点を置いているため特化したイメージのブランド(1200~3000円)</td> </tr> <tr> <td>9.ティラーオブロンドン</td> <td>フレグランス中心のバスタイルターラインで展開。香りのバリエーション×アイテムであるためラインナップとして目立つ(2500円)</td> </tr> </table> <p>※フレグランス中心のバスタイルターラインについて、国内ではメーカー色が強く制度品チャネルのものが多い(ばら園、SASO、KOAKUMA、ハッピーハーバースティなど)</p>	8.エステンス	スリミング効果を目的としたボディケアとスキンケラインを有する。マッサージアイテム(クリーム、美容液)+用具で目的を絞り込んだ無駄のないラインナップ (1800~2200円)	12.ラサラ	ボディケア中心のフルケラインを有するブランド。ターゲット世代を絞り込んでいるためアイテムもターゲットのニーズに合わせた展開になっている ヘアケア、ヘアスタイリング、リップも選択しやすい構成、またボディケアでは美白UVケアにも重点を置いている(1000~1500円)	14.アモエタス	ヘアケア中心でスキンケアパックのラインあり。少アイテムだが高額でパックに力点を置いているため特化したイメージのブランド(1200~3000円)	9.ティラーオブロンドン	フレグランス中心のバスタイルターラインで展開。香りのバリエーション×アイテムであるためラインナップとして目立つ(2500円)
8.エステンス	スリミング効果を目的としたボディケアとスキンケラインを有する。マッサージアイテム(クリーム、美容液)+用具で目的を絞り込んだ無駄のないラインナップ (1800~2200円)										
12.ラサラ	ボディケア中心のフルケラインを有するブランド。ターゲット世代を絞り込んでいるためアイテムもターゲットのニーズに合わせた展開になっている ヘアケア、ヘアスタイリング、リップも選択しやすい構成、またボディケアでは美白UVケアにも重点を置いている(1000~1500円)										
14.アモエタス	ヘアケア中心でスキンケアパックのラインあり。少アイテムだが高額でパックに力点を置いているため特化したイメージのブランド(1200~3000円)										
9.ティラーオブロンドン	フレグランス中心のバスタイルターラインで展開。香りのバリエーション×アイテムであるためラインナップとして目立つ(2500円)										
	<p>●ターゲットを絞り込んだ展開 肌のトラブルの悩み(ニキビ肌、アトピー肌)など限定されたターゲットに対し効力を訴求し信頼性をアピールしているもの。またティーンからOLなど恋愛世代に的を絞って展開しているものなどターゲットを絞り込んだものは商品イメージインパクトも強いものとなっている</p>	①デリケート肌だと自覚している人向け(1.NOV) ②フェイス、ボディをひきしめたい人向け (7.プロスキンケティグ/8.エステンス) ③アトピー肌、ニキビ肌の人メディカルコンセプト (11.ザリメントリカバー) ④恋愛世代のためのボディケアを核としたファッショナルなシリーズ(12.ラサラ)									
	<p>●フレグランスを核にした展開 フレグランス=ホールド力ラクゼーションをテーマにバスアイテム、ボディフレグランス、ルームフレグランスなどコスメよりはトイレタリーチャンネルにおいてステージ性の演出を行っている</p>	④種類の花の香りで英國流ラクゼーションを提案 (9.ティラーオブロンドン)									

分類	コンセプト軸	ブランド別特性	ラインナップ特性
スキンケア ブランド	<p>●皮膚医学に基づいた商品 トータルケアラインの同コンセプト商品に比べるとパッケージコンセプトともポピュラーな印象でターゲットも幅広い</p> <p>●特徴ある原材料、配合成分 主原料の「水」にこだわったものが目立つ傾向は、トータルケアラインと同様「水」については含有されているミネラルが保湿成分の働きを助けるという保湿、保水力を訴求している。中でも飲料水との共有ブランドもあり自然指向を裏付けている。またその他のブランドにおいても「この配合成分だからこのような効果が得られる」ということを明確に打ち出している</p>	<p>①純度の高い良質な低刺激成分使用で肌にマイルド (1.ニュートロジーナ) ②ドイツ皮膚医学をもとにバイオエクロジーで作り素肌を健康に保つ (5.バイオエコロジー)</p> <p>①天然イオン(2.イオナ) ②仏、ヴォージュ地方ヴォーテル村の天然ミネラルウォーター (3.ヴォーテル) ③74種のミネラルを含む岡山県哲多の天然イオン水 (8.iA-2) ④シア産甘草エキス/美白 (7.ホウイイ) ⑤バイオによる生体親和ミネラル/肌を鍛える(9.エフェク) ⑥仏、アルプス地下の天然ミネラルウォーター(10.エビアン) ⑦酵素/ニキビ肌、美白 (11.パーリイコーラルPC-III) ⑧ソソエキス/抗アレルギー (6.マリー・ペレ、ボタニ)</p>	<p>■ベーシックケアとスペシャルケアの充実したラインナップが主流 当初ソープスキンケアだったブランドもラインナップを増やし、今日に至っている。また新製品も追加されるものが多い。</p> <p>3.イオナ イオン配合量によって価格の異なる「イオンクリーム」を柱に多アイテム化。 当初、洗顔+クリームのソープスキンを提唱していたが、今はワクアイテム。但しパックはない。4000～10000円</p> <p>5.バイオエコロジー フルアイテム（但し乳液はない）展開。主幹商品はハッコーソ。洗顔は剤型バリエーションあり。1800～3500円</p> <p>10.エビアン 主幹商品の「プロミザトワール」を柱にファンデーション1品を加えたフルラインナップ。オールスキン対応だがアイテムは充実。1500～3000円</p> <p>11.パーリイコーラル PC-III 酵素による角質分解アイテム（洗顔、化粧水パック）とその後の肌の状態をケアする整肌アイテム（乳液～美容液）に別れている。ファンデーションもあり無駄のない充実ラインナップ。1800～4000円</p>

分類	コンセプト軸	ブランド別特性	ラインナップ特性
スキンケア ブランド	● <u>ブランド</u> をリードする主幹商品を有する このブランドではこの商品(アイテム)がリーディングプロダクトであると店側も消費者も認めている。結果的には主幹商品を軸にラインナップ展開をしているブランドも多い。アイテムとしては、洗顔料、スプレー式化粧水が中心	①肌タイプ別「クレンジングソープ」(1.ニュートロジー) ②イオン配合量別「イオンクリーム」 (2.イオナ) ③スプレー化粧水「アミザール」 (3.ヴィックル) ④オイルクリアソープ(4.マリー・ナリソ) ⑤洗顔料ハッコーソ (5.ハイオロジン) ⑥スプレー化粧水「ヒューティミネラルミスト」(8.iA-2) ⑦スプレー化粧水「フルミサトリール」(10.エビアン) ⑧酵素ローション (11.パーソンヨーラルPC-III)	■動きのよいアイテムに絞って展開。コンセプトに従い必要なアイテムのみを提供 1.ニュートロジー シンケアの「ヒューティス」と先行商品の「クレンジングソープ」の2本柱 ヒューティスでは肌タイプ別に洗顔/化粧水に絞ったアイテム展開。スペシャルケアやクリームはない。1600~1800円 3.ヴィックル 化粧水ミスト「アミザール」を柱に洗顔/化粧水のみのラインナップ 1500~2000円。オールスキン対応 4.マリー・ナリソ オリースキン対応のためパックに注力。洗顔/化粧水/パックのアイテムで各自の コスメスタイル目的に応じて選びやすい。1000~1200円 6.マリー・ペレホウ ベーシックケアの4品のみのシップライン。1500~2000円 7.ホリティ スペシャルケアのパックを加えた5品のみのシップライン。1200~1800円 8.iA-2 化粧水ミスト「ヒューティミネラルミスト」を柱にスペシャルケアの美容液を加えた6品 のライン。1300~2300円 9.エフェク 洗顔/化粧水/乳液の3ステップに美容液のライン、さっぱり、しっとりの 2タイプあり、肌タイプや季節に対応
	● <u>肌のトラブル悩み</u> に絞った展開 シンケアブランドは、肌のトラブル悩み対応型のものと広く一般をターゲットにしているものと大別できる。前者は起きてしまったトラブルを改善する働きを明示しているものが多くスキン、ターゲットを絞り込んだ表現をするなどインパクトの強いものになっている	①オリースキン(毛穴の広がり、 ニキビ、吹き出物、化粧くずれ)の悩み (4.マリー・ナリソ) ②アトピー、かかせ肌、弱い肌 向け(6.マリー・ペレホウ) ③日焼によるシミ、ソバカス (7.ホリティ) ④ニキビ、吹き出物後の黒ズミ 日焼後に残ったシミ (11.パーソンヨーラルPC-III)	
	● <u>無香料、無着色、低刺激性、アレルギーテスト訴求</u> は押さえとして トータルケアライン同様安全性を打ち出している ものも目立つがシンケアラインでは安全性は当然のこととして受け止められるため、ブランドの特徴付けとしてのインパクトは弱いものになっている。但し消費者にとっては依然チェックポイントの一つとして大切な要素	①ノンコメドシエニックテス、アレルギーテス、低刺激性、無着色 アルコールフリー(1.ニュートロジー) ②低刺激、無香又は微香 (2.イオナ) ③低刺激、アレルギーテス、無 香料、無着色 (6.マリー・ペレホウ) ④無香料、無着色、無鉱物 油、低刺激、抗アレルギー (7.ホリティ)	

分類	コンセプト軸	ブランド別特性	ラインナップ特性
ボディケア ブランド	●マッサージを中心としたホームエステを提案 マッサージ行為と剤の特性により効果を訴求しホームエステを銘打っている。主たる効果としては、肌をひきしめる「スリミング」と肌をケアする「トリートメント」の2目的が主流にある	①仮直輸入のおしゃれ高級感。60ヶ国で愛用されており20年のロングセラーブランド。(1.エランシル) ②ボディラインのくずれの要因を理論的に説明、食の提案も行う(2.ヴィヴィーブ) ③ホットとクールの2タイプのマッサージシップ [®] ルスタイル。(6.エスティニ)	■部位別ケアのニーズや目的に応じてラインナップが細分化 1.エランシル スリミングがメインのブランドであるがスリミングを目的としてバスタイムを行う「スリミングシリーズ」と塗るだけで効果が得られるトリートメント剤のみのラインナップの「トリートメントシリーズ」がある。トリートメントにより得られる効果は①部位別スリミング②保湿③キャビトンの予防。1600~7200円
	●特徴ある原材料、配合成分 全面に打ち出したものはボディのみのブランドには少ない。特徴ある成分、材料のものはボリューム消費が見込めるハイケーラインで展開する傾向にあるといえる。	①死海の塩/保湿(2.スリム園) ②塩と海藻エキス(3.ヴィヴィーブ) ③酵素/ニキビ跡、シミ(4.B3)	3.ヴィヴィーブ スリミングを目的としてバスタイム前後に行う「ベーシックケアシリーズ」とアウトバスで行う「部位別ケアシリーズ」あり。1000~2000円
	●ボディスリミング、シェイプアップを強調するもの ボディケアの主流は「ボディコントロール」ひきしめ効果(スリミング)を訴求、痩身は訴求できなかっため「シェイプアップ」「ボディラインを整える」「肌のひきしめ」といった表現で展開している	①石鹼入専用マッサージ器具によるマッサージ法(1.エランシル) ②手軽にシェイプアップ(2.スリム園) ③3ステップ [®] ホームエステと香りによるリラクゼーション作用(3.ヴィヴィーブ) ④サーマルギヤップ [®] でひきしまったボディライン(5.セレスズ) ⑤ホットとクールの2タイプでマッサージ(6.エスティニ)	4.B3 特に気になる部位がある人の為の集中ケア。背中(洗浄・整肌)/ヒップ(洗浄)/レッグ(パック)/下半身(マッサージ)の4部位に分けて効果的なアイテムが絞り込まれている。1800~4000円
	●部位別に集中ケア 気になる部位を集中的にケアするラインナップで、より絞り込んだボディケアニーズに対応している。 全て部位別ケアのみのブランドと全身と部位別の2ラインナップのブランドに大別できる	①ひじ、ひざ、かかとの角質/柔軟オイル部位の皮脂コントロール(3.ヴィヴィーブ) ②背中のシミ、ヒップのデコボコ、下半身のむくみ対応(4.B3)	5.セレスズ 血行促進アイテムのHeatシリーズ(入浴剤、クリーム、マッサージ)とひきしめアイテムのCoolシリーズ(洗浄、化粧水)のラインナップ。1200~2000円
	●1アイテムに絞った展開 ローション、パックなど1アイテムのみで展開しているもの。全身薬用ローションのシリーズがあり、特に夏期の日焼ニーズに対応するものである	①クール感のある全身薬用ローション、ローション、ジェルローションスプレーなど目的に応じたバリエーションで日焼け肌対応(7.クール)	6.サ マッサージアイテムとトリートメントアイテム(化粧水)のシップルケア、マッサージアイテムには、温熱タイプと冷却タイプがあり、それぞれ保湿、ひきしめ、美白、疲労回復のニーズに対応できるようになっている。1000円